

公益社団法人 生態系トラスト協会

住所：高知県高岡郡四万十町大正31-1 連絡先：050-8800-2816 代表者：中村滝男

事業名

外来種サンジャクの繁殖情報収集・繁殖期の捕獲&移送実験

補助対象事業区分：自然環境を守る取組

事業目的

外来種・サンジャクの日本での繁殖情報は、営巣時期・営巣環境・産卵数・子育ての状況も含めてほとんど知られていない。これまでの調査で知りえた調査協力者や一般からの営巣情報を収集し、営巣地が明らかになった場合、営巣地の周辺で、鳴き声やおとりを使っておびき寄せて捕獲できるかどうか実験を行う。また、捕獲できた場合、引き続き飼育実験を行い、受取条件が整い次第、移送実験を行う。

事業概要

事業区分：一般事業

県補助金：500千円(総事業費593千円)

実施期間：令和4年5月12日～令和5年3月31日

施行場所：四万十町 他高知県西部

事業内容

公開観察会の開催：2022年6月4日(土)、7月9日(土) 黒潮町佐賀新港

サンジャクチラシの作成・配布：2000部発行 送付先：211件

対策検討会の開催：2022年8月24日、2023年2月7日

サンジャクの生息調査：高知県西部を中心に実施

結果と分析

外来鳥サンジャクの生息が確認されている黒潮町鹿島において、一般からの参加者を募り公開観察会を2022年6月4日と7月9日の2回開催した。その様子はテレビや新聞でも紹介され、広く県民にサンジャクの実態についての周知を図ることが出来た。

サンジャクの分布が県内で急拡大していることと、サンジャクの見撃情報についての情報提供を求めるチラシを作成し、県内各所に配布することにより、広く普及啓発を図ることが出来た。

また、無人島である鹿島に数回調査に渡り、センサーカメラを活用してサンジャクの画像を撮影することが出来た。確認されたのは親鳥と幼鳥らしき数羽であり、サンジャクが野生繁殖されていることを裏付ける貴重な資料を得ることが出来た。

< 第1回外来種・サンジャク学習会 >



分布が急拡大する外来種サンジャク



この鳥を見かけたらお知らせください。

愛媛県が設置したりゾート施設(宇和島市)から23年前に集団で逃げ出したリンジャクという鳥は、中国大陸に分布していたカラスの仲間、全長が65センチ前後。全身が灰青色で嘴が赤い大きな鳥で、日本在来の鳥と一目で見分けがつけます。

雑食性で肉や果物などを好むことから、当協会では、メジロやオオルリ、ヤイロチョウなどの在来の小鳥類のヒナや卵を捕食する侵略的な外来種と考えています。毎年、3～6個の卵を産むといわれ、四国南西部で繁殖しながら急速に分布を拡大しており、驚いたことに、10月3日午前8時頃、宇和島から直線で110キロも離れた高知空港の東を流れる物部川の河川敷で飛来が確認され証跡の写真まで撮影されました。侵略的な外来種であるサンジャクの急拡大を防止するため、新しく目撃された南門市、香南市で、取り急ぎ、目撃情報を募りたいと考えています。サンジャクを見かけた方は、下記の公益社団法人生態系トラストまでご連絡をお願いします。

連絡先：公益社団法人生態系トラスト協会(四万十町の自然センター内) Email:ecotrust@na.pikara.ne.jp
電話・FAX: 0980-29-4011 7:00-20:00 高知県高岡郡四万十町大正31-1
センター休日の場合 090-3180-3514(中村博樹)

※本事業は高知・愛媛両県境を横断する自然環境保全推進事業補助金を受けて実施されています。



日本初!! 野生繁殖が確認された外来種のサンジャクの親子(左幼鳥、右親鳥)

ネイチャーセンターで飼育していたサンジャク2羽を高知市内の動物園「わんぱーくこうち」へ移送した。これにより、サンジャクの生態把握がより深まるものと期待する。

今後の取組に向けて

外来鳥サンジャクが野生で繁殖していることは明らかであるが、営巣地は確認できておらず、生態については不明な点が多い。サンジャクの四国内へのまん延を防止するためには、さらなる生態把握のための調査が必要である。